

此」と記せり、只舊唐書廻紇傳に、前に記せる所に續けて

烏介諸部、猶稱十萬衆、駐牙大同軍北閭門山、時會昌二年、秋頻劫東陝已北、天德振武雲朔、比羅俘戮、詔諸道兵、悉至防悍、以河東節度使劉沔、充南面招控廻鶻使、以幽州節度使張忠武、充東面招控廻鶻使、二年冬三月春、廻鶻特勒龐俱遮・阿敦寧二部、廻鶻公主密羯可敦一部、外相諸洛固阿跌一部、及牙帳大將曹磨你等七部、共三萬衆、相次降於幽州、詔配諸道、有特勒噶沒斯・阿歷支・習勿啜三部・廻鶻相愛耶勿弘順・廻鶻尙書

呂衡等諸部、降振武、三部首領皆賜姓李氏及名思忠・思貞・思惠・思恩、充歸義使

と見ゆるに鑑むれば、稍々此の事件に關する時日を推測し得ざるに非るが如し、抑も茲に見ゆる二年冬三月春なる書き方は、曰ふ迄も無く其の間に何等か誤謬を有すべきものなるが、全文の中、始に見ゆる會昌二年秋の回鶻侵寇の事件以外、河東節度使劉沔及び幽州節度使張仲武を各々南東面招控回鶻使に任じたるは會昌二年九月の事、終に記せる特勒噶沒斯・阿歷支・習勿啜等の振武に來降せしは、却りて其の以前なる會昌二年五月の事にして、冊府元龜封冊篇には其の翌六月、此等の降將を封じたる時の制を載せたり、而して「二年冬三月春」以下「降於幽州」迄の記事は、舊唐書張仲武傳に、

廻鶻有將(特之誤)勒那頡啜、擁赤心宰相一族七千帳、東逼漁陽、仲武遣其弟仲至、與裨將游奉實主如清等、率銳兵三萬人、大破之、前後收其侯王貴族千餘人、降三萬人、獲牛馬橐駝旗纛屬幕、不可勝計

と記し、又通鑑會昌二年五月の條の註記に引ける叛伐記に

仲武招降赤心下潰兵及可汗下部落前後三萬餘人、分配諸道、回鶻種族遂至寡弱